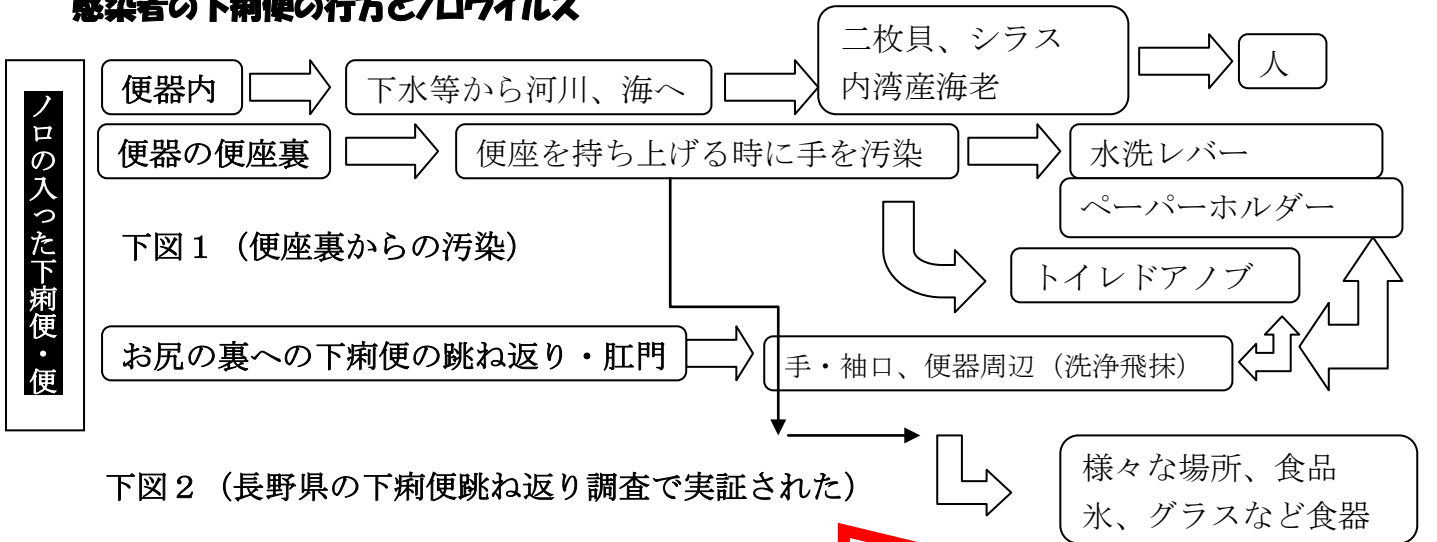


ノロウイルス対策のポイント シリーズ2 トイレ管理

トイレは感染の大元(人からウイルスが排出されるのは便と吐物(口に残ることも))

- ★ 感染者の便中 1 g に 100,000,000 個のウイルスが存在 (1000 万人が感染する量)
- ★ 排便時、全部が水洗されるわけではない。

感染者の下痢便の行方とノロウイルス



下図2 (長野県の下痢便跳ね返り調査で実証された)

こうして汚染は拡大していき、従事者が感染したり、食中毒に

食中毒

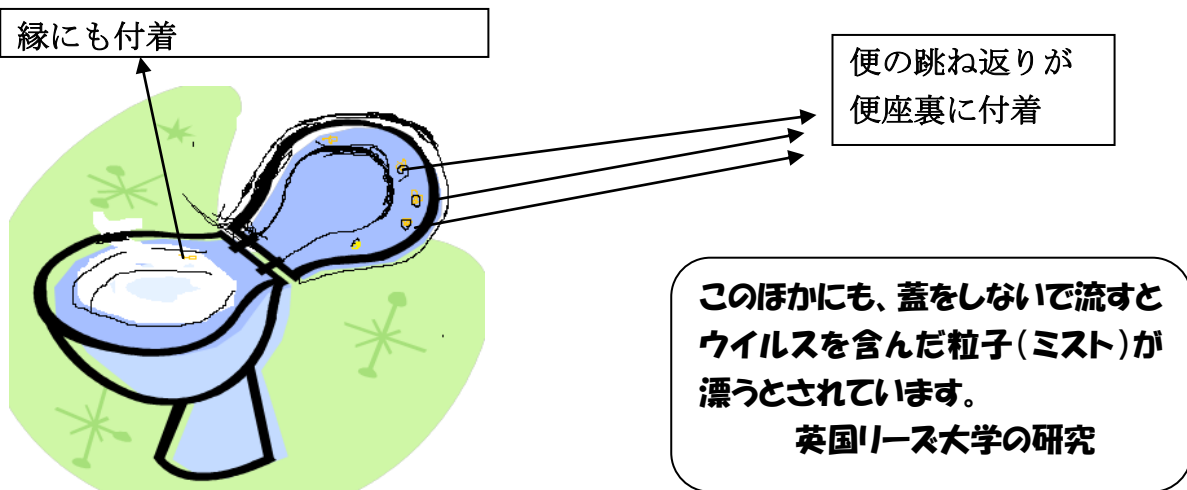
便座裏の汚れのイメージ

便座裏についた便の跳ね返りから手に→服やトイレの水洗レバー、トイレのドアノブに
静岡のテストでは便座から最も多くノロウイルス (4200 CORY) が検出された。

この場合小用で便座を上げるときに手が汚れます

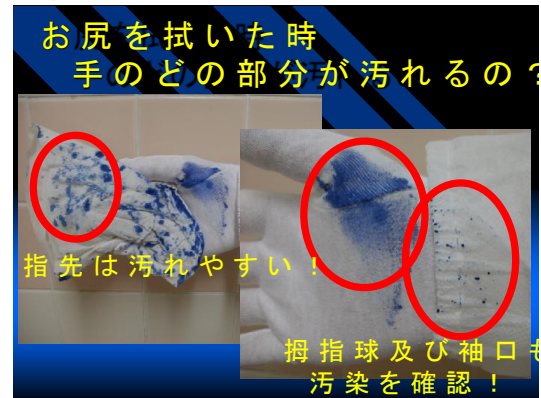
また、便座裏の掃除の時に手が汚れます (トイレの清掃シートではノロウイルスは不活化できません)

<図1>



お尻の便の跳ね返りの実験

<図2>



結論

トイレはどこにノロウイルスが付着しているかわからない。

とにかく小用でもトイレにいったらすぐよく手を洗いましょう

トイレ施設の掃除の際に消毒を！！！！

便座裏に黄色い点々があるような時は下痢便の跳ね返りです。

便座裏などは塩素剤（次亜塩素酸ナトリウム 1000ppm 溶液）をトイレットペーパーにたっぷり吹きかけ、便座裏に塗り、10分間放置し、ふき取りましょう。

次亜塩素酸ナトリウム 1000ppm 溶液の作り方

容量目盛りの付いたスプレー容器を購入し、1,000ppm の溶液をその都度作ります。

（汚れている場所は、1000ppm の溶液で消毒します）



目盛りつき

トイレの掃除の順序

ドアノブの周辺→水洗レバー→便座→便器内

（温水装置パネル等は、トイレットペーパーに溶液を浸み込ませ拭く。）

トイレ掃除の服装

マスク、手袋、エプロンを着用

目安（次亜塩素酸ナトリウムの量）
1000 p p m溶液 2 0 0 c c 作る
原液 4 % の濃度のもの 5 c c
原液 5 % の濃度のもの 4 c c
原液 6 % の濃度のもの 3.3 c c (4 c c) を容器に入れ水で 2 0 0 c c とする。

トイレ掃除後はきちんと手洗いを！！！！